



2023 SUPER GT Rd.7
2023.10.14-15 AUTOPOLIS

はじめに

菅生大会から1ヶ月のインターバルを経て、第7戦オートポリス大会を迎えました。今大会からサクセスウェイトが半分になる関係から、各チームの実力がそのまま順位に反映されやすくなり、厳しい戦いになることが考えられましたが、レース前のテストで良い感触を得られていたので自信を持ってレースに臨みました。

公式練習

ダンプ路面で始まった公式練習はいつも通り伊沢選手からスタートしました。前戦の菅生大会では、公式練習の走り始めから苦戦してしまい出遅れたため、今回は始めから順調に進められることを期待していましたが結果的には様々なマッチングがうまくいかず苦戦しました。セッション中盤で私にドライバー交代をして周回を重ねましたが、徐々にマシンバランスは改善しているものの全体的な戦闘力は足りていない状態で予選に向けては厳しい戦いになることが予想されました。

予選(Q1担当:15位)

今回もQ1を担当し突破を狙いました。丁寧にタイヤを温め、アタックに入る段階では公式練習に比べてかなりバランスが改善していることを感じられました。しかしながらQ1を突破できるだけの速さはなく、15位という悔しい結果になってしまいました。練習に比べれば上位勢とのタイム差を縮めることはできましたが、まだまだ足りていない現状を最終戦に向けてもう一度多角的に見直す必要があると感じています。

決勝(11位)

スタートを伊沢選手が担当し、約50周目でドライバーチェンジを行いました。伊沢選手が2スティント目で使用したタイヤは、フィーリングも良かったようで順位を上げてバトンを渡してもらいました。私のスティントも同じタイヤを使用して周回を重ねましたが、ピットアウト時点で40秒弱あった前の車との差を約25秒縮められたことや、終盤にトップと遜色ないタイムで走れたことなどポジティブな内容となりました。ウォームアップは課題として挙げられましたがここ最近のレースと同じく、強いレースペースを発揮することができたのは良かったと思っています。

おわりに

今回はテストで非常に良かったタイヤを持ち込んでいたこともあり、期待を持って臨みましたが11位という結果に終わってしまい悔しいです。予選の戦闘力、ウォームアップ、決勝の耐久性という全てが噛み合わない上位では戦えないのがGTですが、一つ一つ他の陣営に近づいていると感じられているので、最終戦で優勝できるようにまたチーム一丸となって頑張っていきたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。



KAKUNOSHIN OHTA RACE REPORT

2023 SUPER GT Rd.7

2023.10.14-15 AUTOPOLIS



HONDA

